

## 7. 健康・医療に対する意識

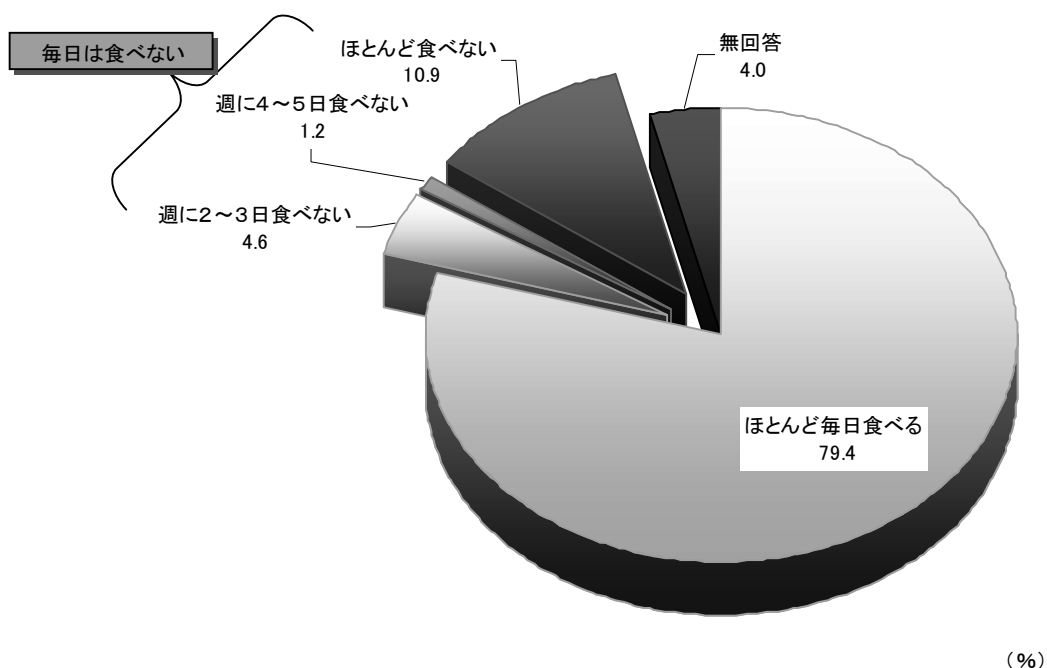
県では、県民の皆様が、健全な食生活を実践し、豊かな心と健やかな身体を育成することができるよう、関係機関と連携し食育を推進しています。

### (1) 朝食の摂取

- 「ほとんど毎日食べる」が79.4%。

問19 あなたは、ふだん朝食を食べますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

※菓子・果物・乳製品・嗜好飲料（コーヒー、ジュースなど）、錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラル、栄養ドリンク剤のみをとった場合は「食べない」を含む。



朝食の摂取について、「ほとんど毎日食べる」と回答した割合は79.4%で最も高く、一方で「毎日食べない」（「週に2〜3日食べない」「週に4〜5日食べない」「ほとんど食べない」）は16.7%となっている。

#### <属性による比較> (次図)

##### 生活圏別

広島生活圏で「毎日食べない」と回答した割合は17.4%で、他の生活圏より僅かに高くなっている。

##### 性別

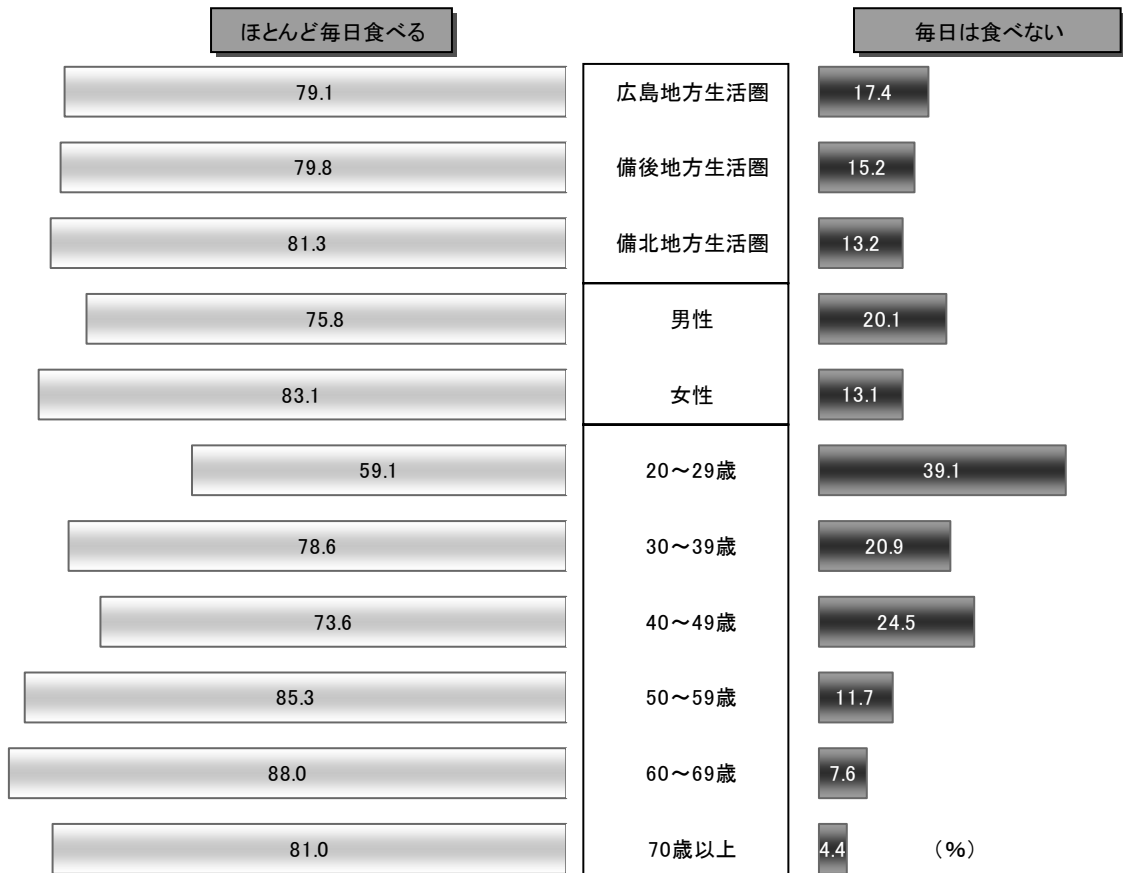
男性で「毎日食べない」と回答した割合は20.1%で、女性より7.0ポイント高くなっている。

##### 年代別

20歳代で「毎日食べない」と回答した割合は39.1%で、すべての年代の中で最も高くなっている。

● 朝食の摂取(生活圏, 性, 年代別)

※ 毎日は食べない(「週に2~3日食べない」「週に4~5日食べない」「ほとんど食べない」)

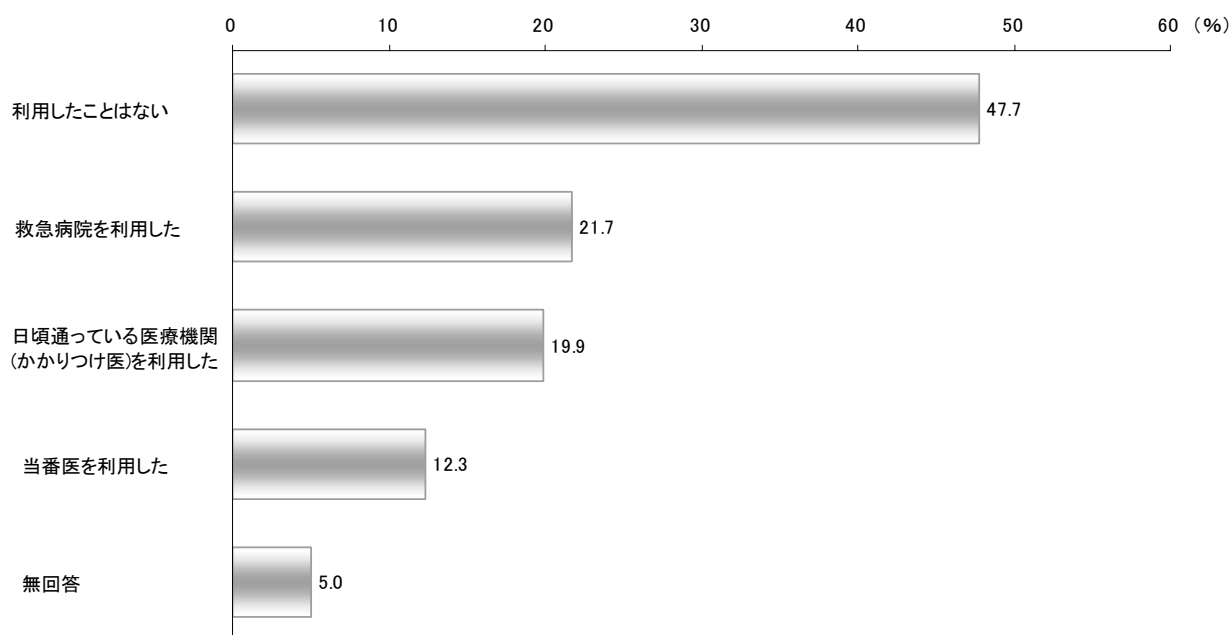


県では、健康で安心できる県民生活の基盤をなす医療が、医師不足という深刻な事態に直面しているなかで、適切な医療が受けられるよう、救急医療体制整備等に取り組んでいます。

## (2) 休日・夜間の医療機関利用

- 「利用したことはない」が47.7%で、「救急病院」が21.7%、「日頃通っている医療機関」が19.9%。

問20 あなたやご家族が、この3年以内に、休日や夜間に医療機関を利用したことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)



休日・夜間の医療機関利用について、「利用したことはない」と回答した割合は47.7%で最も高く、次いで「救急病院を利用した」(21.7%)、「日頃通っている医療機関(かかりつけ医)を利用した」(19.9%)の順となっている。

### <属性による比較> (次図)

#### 生活圏別

広島生活圏で「利用したことはない」と回答した割合は49.1%で、他の生活圏より高くなっている。備北生活圏では「日頃通っている医療機関(かかりつけ医)を利用した」が27.6%、「救急病院を利用した」が25.0%で、他より高くなっている。

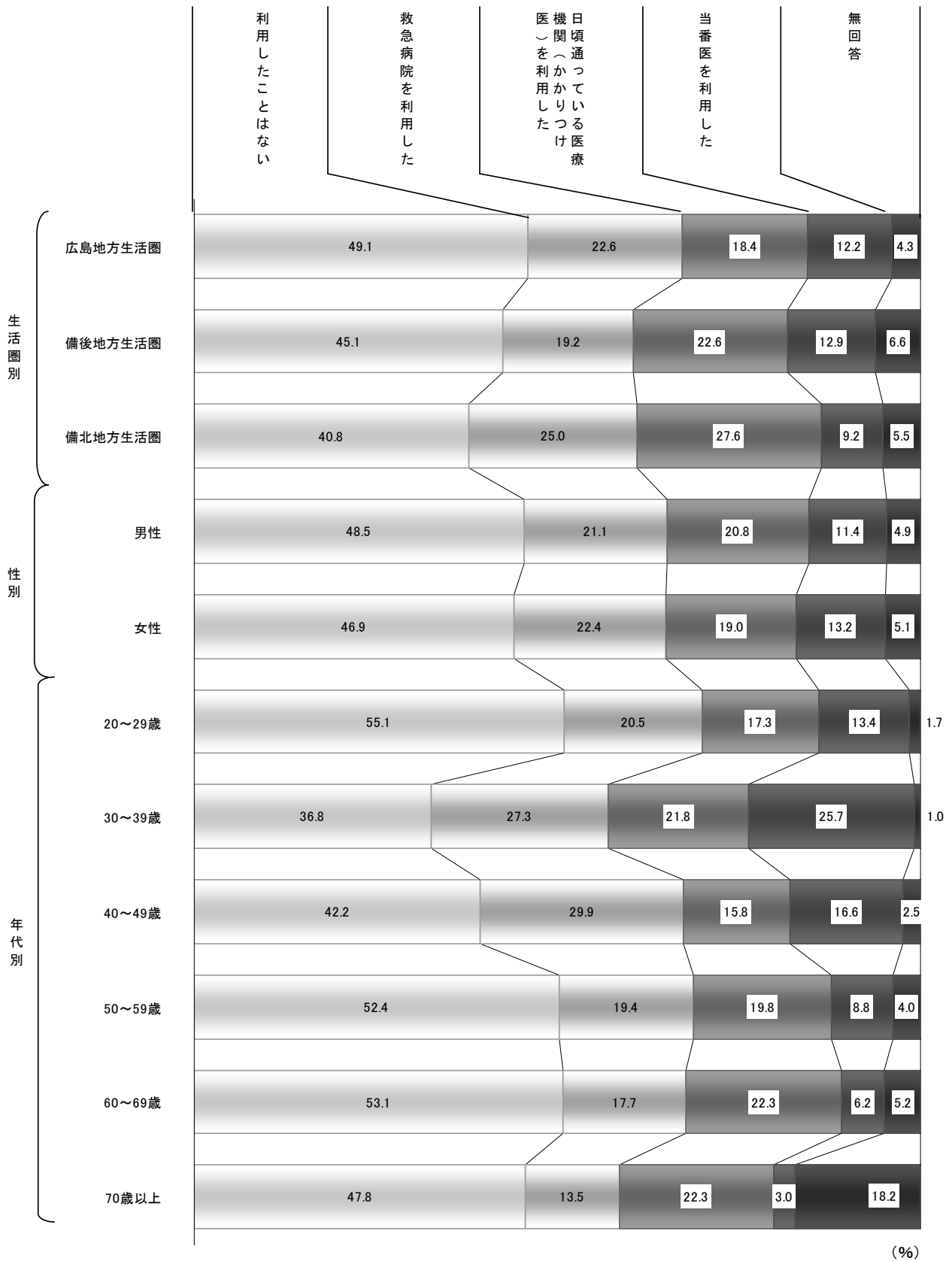
#### 性別

男性女性ともほぼ同じ傾向となっている。

#### 年代別

30歳代で「当番医を利用した」と回答した割合は25.7%、40歳代の「救急病院を利用した」は29.9%で、すべての年代の中で最も高く、以降は年代の上昇に伴い減少している。40歳代の「日頃通っている医療機関(かかりつけ医)を利用した」は15.8%で最も低く、以降は年代の上昇に伴い高くなっている。

● 休日・夜間の医療機関利用(生活圏, 性, 年代別)

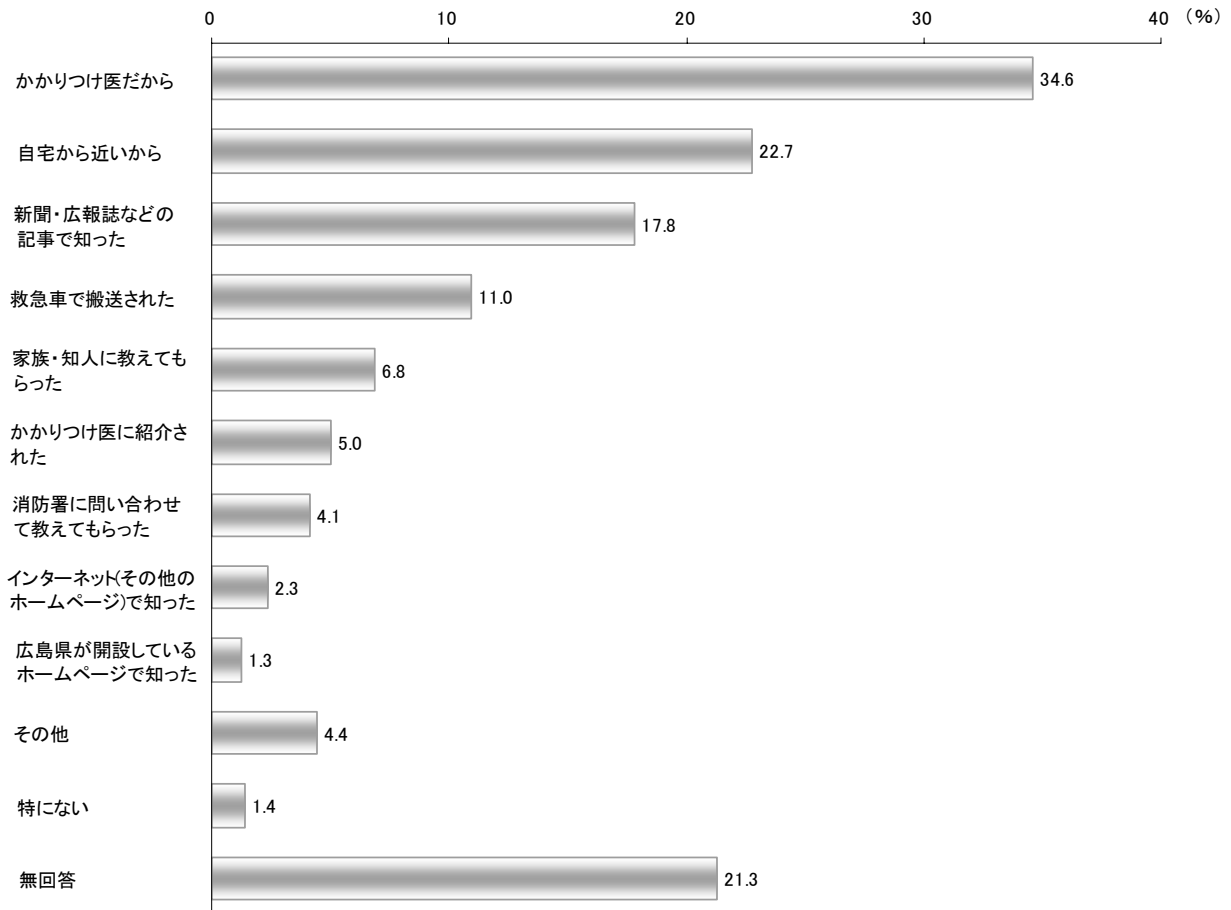


(%)

### (3) 休日・夜間の受診医療機関を選んだ理由

- 「かかりつけ医だから」が34.6%、「自宅から近いから」が22.7%。

問20-1 問20で「①日頃通っている医療機関を利用した」「②当番医を利用した」「③救急病院を利用した」を選んだ方におうかがいします。どのようにして医療機関を選びましたか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)



※ 広島県が開設しているホームページ：「救急医療Net HIROSHIMA」

休日・夜間の受診医療機関を選んだ理由について、「かかりつけ医だから」と回答した割合は34.6%で、最も高く、次いで「自宅から近いから」(22.7%)、「新聞・広報誌などの記事で知った」(17.8%)の順となっている。

#### <属性による比較> (次図)

##### 生活圏別

備後生活圏で「新聞・広報誌などの記事で知った」と回答した割合は21.6%で、他の生活圏より高くなっている。備北生活圏では「かかりつけ医だから」が47.9%、「自宅から近いから」が28.1%で、他より高くなっている。

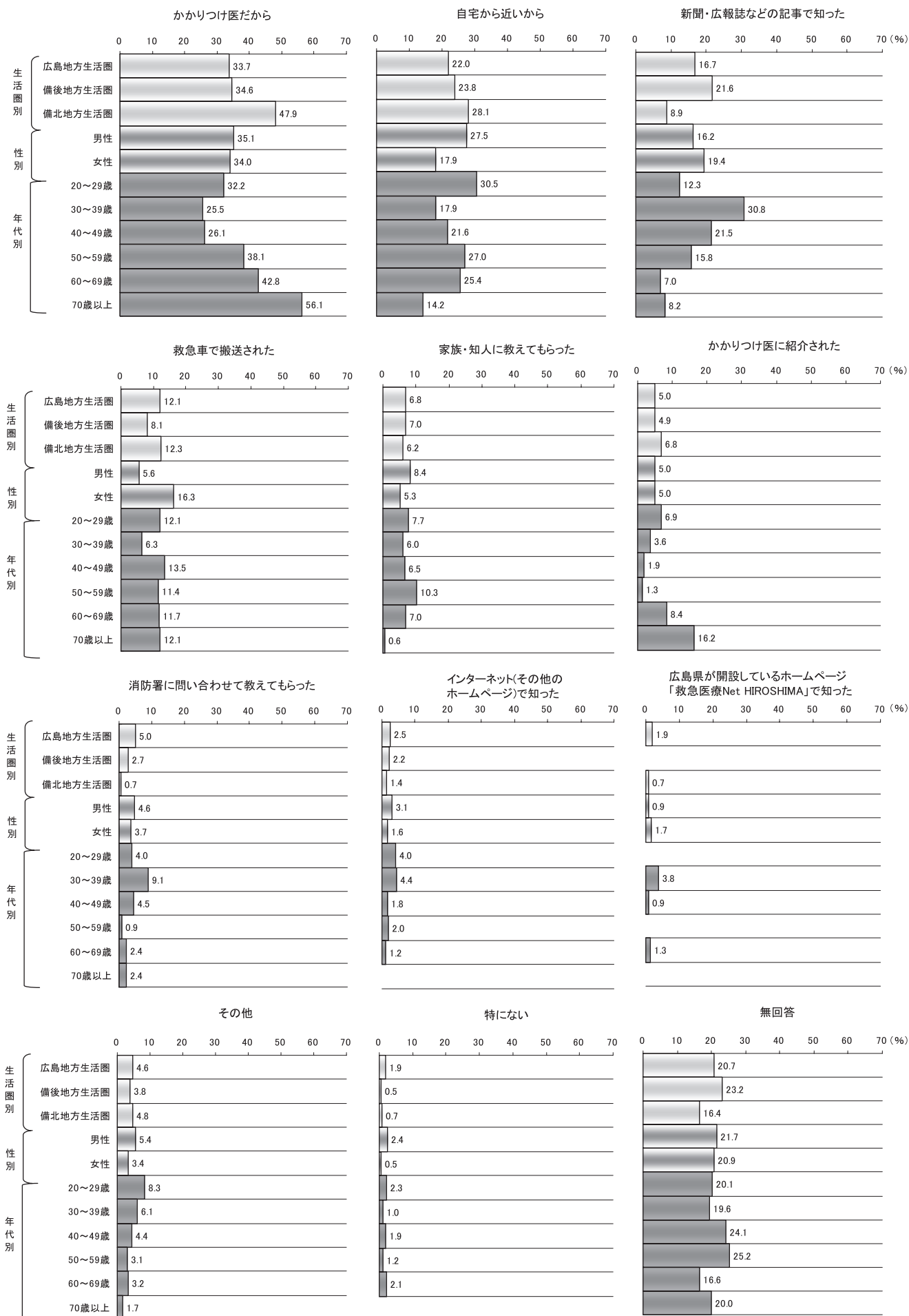
##### 性別

男性で「自宅から近いから」と回答した割合は27.5%で、女性より9.6ポイント高く、女性の「救急車で搬送された」は16.3%で、男性より10.7ポイント高くなっている。

##### 年代別

「かかりつけ医だから」と回答した割合は、70歳以上が56.1%ですべての年代の中で最も高く、30～40歳代は30%以下となっている。

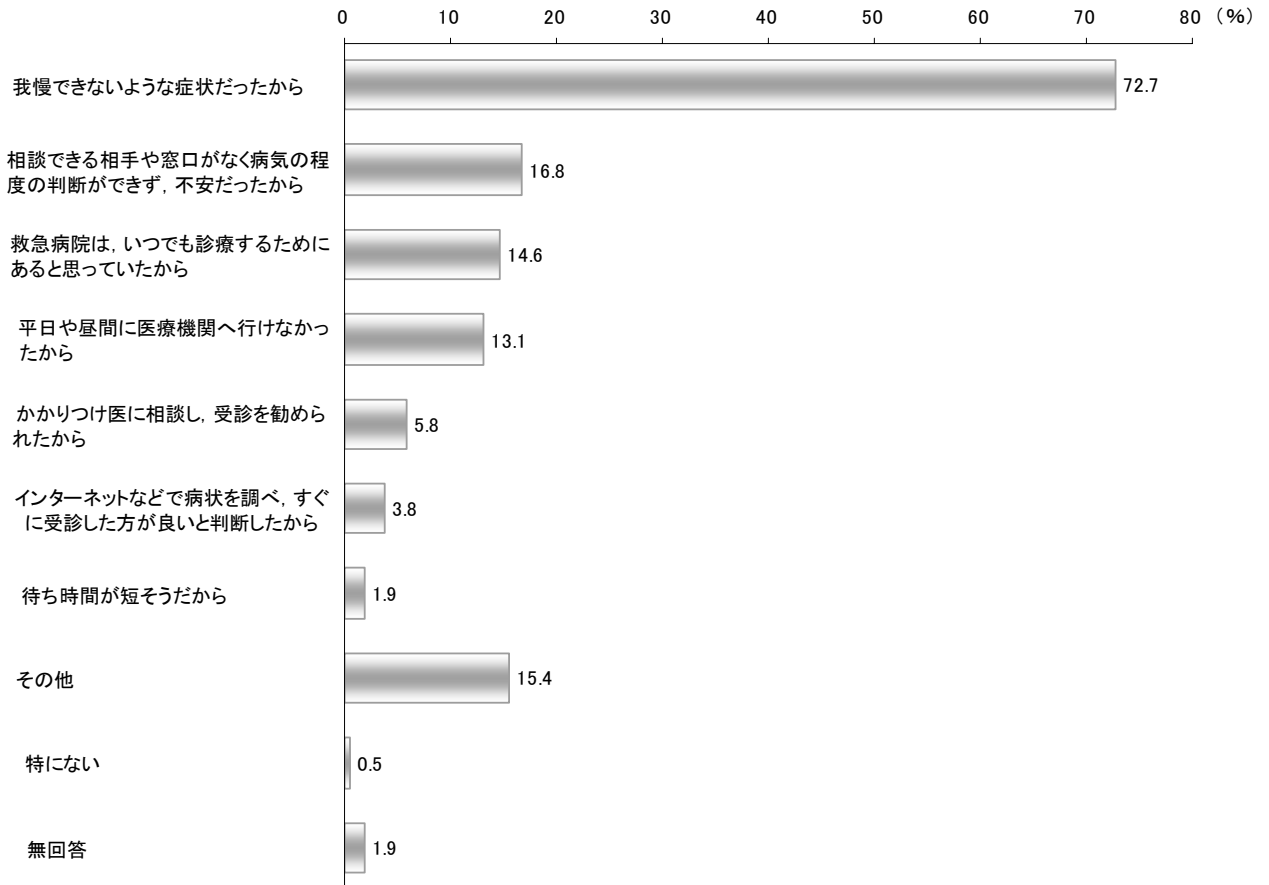
● 休日・夜間の受診医療機関を選んだ理由(生活圏, 性, 年代別)



#### (4) 救急病院を利用した理由

● 「我慢できないような症状だったから」が72.7%。

問20-2 問20で「③救急病院を利用した」を選んだ方におうかがいします。救急病院を利用したのは、なぜですか。主な理由を3つ以内で選んでください。(M. A.)



救急病院を利用した理由について、「我慢できないような症状だったから」と回答した割合は72.7%で最も高く、次いで「相談できる相手や窓口がなく病気の程度の判断ができず、不安だったから」(16.8%)、「救急病院は、いつでも診療するためにあると思っていたから」(14.6%)、「平日や昼間に医療機関へ行けなかったから」(13.1%)の順となっている。

#### <属性による比較> (次図)

##### 生活圏別

備北生活圏で「平日や昼間に医療機関へ行けなかったから」と回答した割合は17.6%で、他の生活圏より高くなっている。

##### 性別

男性で「我慢できないような症状だったから」と回答した割合は77.6%で、女性より9.6ポイント高くなっている。

##### 年代別

「我慢できないような症状だったから」と回答した割合は、40歳以上の年代が70%を超え、20～30歳代より高くなっている。「救急病院は、いつでも診療するためにあると思っていたから」は60歳代が28.9%、「平日や昼間に医療機関へ行けなかったから」は30歳代が26.2%で、すべての年代の中で最も高くなっている。

● 救急病院を利用した理由(生活圏, 性, 年代別)

